

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	職員採用事務事業	コード	06-01-04-05
		担当課・係	総務課職員係
		担当者	石原史章
事業実施期間	H17.3.22～	電話	0869-64-1808
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり	
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な財政運営	
	小項目(施策)	人事管理	

事業について	
目的 (何のために)	市職員採用のため
対象 (誰・何を対象に)	受験者
内容	地方公務員法第15条及び職員任用規則に基づき、退職に伴う補充等のため実施する職員採用試験。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
受験者数	170 人	76 人	
採用者数	29 人	18 人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	447	国庫補助金等		直接事業費	173	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,345	受益者負担		人件費	2,025	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	2,792	市債	2,792	合計	2,198	市債	2,198	合計	0	市債	0

結果指標	必要人員	0.30 人	0.30 人	
	結果指標名	受験者	受験者	
	結果指標量	170	76	
	単位	人	人	
結果指標	対前年比		44.71%	0.00%
	活動にかかるコスト	2,317,000 円	1,677,000 円	
	単位当たりコスト	13,629 円	22,066 円	
	結果指標名	採用者	採用者	
結果指標	結果指標量	29	18	
	単位	人件費	人件費	
	対前年比		62.07%	0.00%
	活動にかかるコスト	475,000 円	520,579 円	
結果指標	単位当たりコスト	16,379 円	28,921 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	採用試験に係る経費の低減化 優秀な人材の確保		
成果指標名	単位当たりコスト	式又は説明	採用試験に係る経費 (事業費合計/受験者数)
	17年度	18年度	
成果指標量	13,629	22,066	
対前年比		161.90%	0.00%
到達目標値	なし	到達目標年度	なし

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 地方公務員法第15条ほか
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

平成19年度の状況		説明 統一試験（9月中旬）を中心に実施する方向である。ホームページ等に採用情報を掲載することで広く情報発信を行っている。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	

目標値	結果指標量	結果指標量
	成果指標量	

総合評価	法の規定に従い、職員の任用は、採用試験の成績など能力の実証に基づいて行われている。優秀な人材を採用するという観点から採用試験に多くの受験者が集まるよう工夫する必要がある。	評価区分 <A~E> <b>C</b>
------	---	---------------------------

平成20年度以降の方向性		説明 平成19年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成20年度以降の改善事項		改善時期 平成20年度	改善により期待される効果 計画的に採用事務を行うことができる。
評価の視点	改善内容		
効率性	当年度の勤労退職時期を9月に変更したことから採用時期の遅延と、専門職の応募が少ないなど、特に採用職員については、臨時試験を行うことが必要となることから、随時・定期的、併用での採用計画が求められる。		